

メキシコ柔道ナショナルチーム来訪

2018/4/5

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、「ホストタウン」として廿日市市がメキシコの柔道と空手のナショナルチームの選手を受け入れることになりました。この一環で柔道ナショナルチームの選手2名が高齢者の方々とのおふれあいを目的として2018年4月5日（木）当法人施設（廿日市宮内地区）にご来訪くださいました。

ご来訪日までに、メキシコの旗作り、スペイン語で挨拶の練習など、各部署が楽しみながら準備を行いました。当日は、日本文化を楽しんでもらいたいと当法人関連施設グループホーム入居者様がお琴を披露しました。そして、着物姿や法被姿に着替えて頂き、春にちなみさくら餅やメキシコの方が好きそうなお菓子やアイスクリームなどを振舞い、一緒にティータイムを過ごしました。また、デイ・ケアひまわりでご利用者様と一緒にゲームを楽しまれたり、施設見学もしていただきました。選手の方はとても気さくで明るく、笑顔の絶えないお二人でした。ぜひまた、お越しいただきたいと思いました。

文：西村 久枝（廿日市野村病院 看護部長）

